

あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Horizontal lines for writing responses.

イラストも募集しています。広報はがのカットとして掲載させていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

Large empty box for drawing illustrations.



●譲り合いの心

上延生 Sさん

信号のない横断歩道で人が立ち止まっていたら、車は一時停止をしなければならぬそうです。

朝、通勤途中に真岡の大内小学校のそばを通るのですが、横断歩道で立ち止まっている通学班の子どもたちがいたので車を止めました。子どもたちは急いで車の前を通り過ぎると振り返り、全員で頭を下げてくれました。横断歩道のそばの子どもたちを見つけたら、きっと私はまた気持ちよく車を止めるでしょう。

●思いやりの心を育てましよう
稲毛田 かんざとくみさん
5月の青い空に多くの鯉のぼりが元気に泳いでいます。素晴らしい情景です。私は何気なく眺めていました。赤、青、黄、黒、色とりどりの鯉たちでした。そしてなぜか楽しそうに話しながら泳いでいるようにも見えました。今、人間の世界はさまざまなお事件が起きています。なぜなのかを考えてみました。そうですね、家族で話し合う機会が少なすぎるのでは、とも考えました。

▶下高根沢 高松イクさん



現在は忙しい。忙しい中ですが、一日一回、10分間でも「子どもの目線で話を聞いてやれる」環境が、「親の姿勢」が必要かと思えます。忙しい時にこそコミュニケーションが大切なのです。青空に羽ばたく鯉のぼり。あの鯉のぼり100体が重なり合って、風に向かい一つの方向に泳いでいる姿は感動すら覚えます。人間も一つの正しい方向に向かって前向きに進むことができれば、悪いことは起きないのではないかと考えたりします。芳賀町民憲章「思いやりの心を育てよう」まずは、大人から実行してみませんか。

食育 食べて元気!

離乳期からの食事が大切

離乳食は、赤ちゃんが母乳やミルク以外の食べ物から栄養を摂ることと、食べ物を噛んで飲み込む咀嚼能力を習得するという大切な役割を持っています。

子どもの野菜嫌いの原因のひとつに、離乳期の食事が影響しています。離乳食スタート時の味覚はいわば白紙の状態、比較的容易にいろいろな味を受け入れることができます。この時期にいろいろな食材に慣れさせ、素材の味を生かした薄味にして味覚の土台をしっかりとすることが大切です。

また、最近ではよく噛まずに丸飲みする子、固いものを噛めない子が増えています。これは、子どもがやわらかくてあまり噛まなくてよいも

のを好むことや、離乳期に咀嚼能力を身に付けなかったことが考えられます。噛むことによって、①味覚が発達する ②唾液の分泌を高め、消化を助ける ③脳が発達し、頭の動きが良くなる ④あごが発達し、歯並びが良くなる ⑤言葉の発達がはっきりする などのメリットがあります。離乳期から噛むトレーニングをしましょう。

●学校教育課学校教育係
【☎028(677)6024】

